

火の魂カンパニーで働く皆さんいつも本当にありがとう。

先日、8月31日に第14期経営計画発表会を開催しました。

これから5年間の火の魂カンパニーの成長は、今いる既存社員が必ず主役になります。

年商規模は5年で3倍に成長し、幹部候補も3年以内には増員任命します。

理念を体現し成果を出した店長の中から、MGRを8月に任命したいと想う。

さて、今月の社長からの手紙は、研修が明けた新入社員に向けて書いていきたいと思う。

とは言え、これから会社を共に創っていく既存社員も改めて理解を深め今期の成長のチャンスを掴み取ってほしい。今回の経営計画発表会で伝えた中で、まだ役職がついていない若手の社員に対して、副店長（係長）を目指す事の大切さを話した。

社会と学校は全く別物で、社会人は目指すものがなければ、成長はできないと言っても過言ではない。学校では基本的には社会でいうと年功序列であり、毎年4月になれば基本的には学年が上がり、出来ていようが出来なかつても「新しい学び」を学校が用意している。※勿論留年とかがあれば同じ学びではありますが・・・。

とは言え、基本的に学業の優劣に問わず、毎年新しいことを学べるから常に新たな学びを他社が用意し取り組めるし、成長しているような気持ちを感じられるだろう。

しかし、今の日本では年功序列制度は終結し、新たにチャレンジしている若手にチャンスをドンドン与えられる世の中に変わっている。つまり勤める会社の中で目指すべきものを決めて、目標を持ってチャレンジする人が、新たな仕事やチャンスを与えられている。それは火の魂カンパニーでも同じで、新卒5期は特にそうだったが、「最短で店長になりたいです!」と言っていた2名には、積極的にチャンスを与え、そのチャンスをつかみ取り現店長として店舗をまとめる重要なポジションを勝ち取っているのだ。

私はいつも思うことがある。それは「できるか?できないか?」の前に、目指さなかったら、毎日同じことの繰り返しで、仕事はつまらなくなるし、なんのためにやっているか分からなくなるもので、自分自身が店長を目指す事で、その目標に対してチャンスを与えられて、なりたい姿と今の自分の比較が発生し「成長」の一步と日々の変化を感じるものだ。何も目指していなければ何のために働くのか?お金のため?生活のため?それでは仕事が楽しい訳がない。まずは社員として上を目指すこと、そしてそれを公言すること。

言わなければ責任も生じないし、誰も気がついてくれない。今回も副店長になりたい!店長になりたい!という発表会の振り返りシートに書いてあった者が数名いました。

そこから挑戦が始まります。私も夢の会社を毎年社員の前で語るようになってから会社が劇的に変わりました。夢は叶うと言いますが、叶うという字は夢を「口」に出し「十年」言い続けること、店長なら十ヶ月くらい真剣に言い続けて行動すれば誰でも実現できる可能性はあります。何の目標を持たず変わらない仕事をするより、店長を真剣に目指し目の前の仕事の景色をガラリと変え、成長痛を感じてやりきる日々を楽しんでほしい。